Press Release

HITACHI

2026 年 10 月 15 日
株式会社日立製作所
株式会社日立ビルシステム

標準型エレベーター「アーバンエース HF Mirai」が「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞

「BuilMirai」と連携し、レジリエンスとビル DX を支える次世代コネクテッドエレベーターとして、ビルの新たな価値創出に貢献

「アーバンエース HF Mirai」

株式会社日立製作所(以下、日立)と株式会社日立ビルシステム(以下、日立ビルシステム)は、標準型エレベーターの新シリーズ「アーバンエース HF Mirai (エイチエフ ミライ)」[*1] が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞したことをお知らせします。

「アーバンエース HF Mirai」は、世界的なプロダクトデザイナーの深澤直人氏が代表を務める NAOTO FUKASAWA DESIGN LTD.の監修のもと、日立が長年培ってきた開発コンセプト「HUMAN FRIENDLY (HF)」[*2] の集大成として開発し、2026 年 4 月に販売を開始した次世代コネクテッドエレベーターです。

床や壁に木目・石目を採用し、素材感や細部の納まりにこだわることで、建築空間と調和する上質で心地よい移動空間を実現しました。また、12.1 インチの大型液晶インジケーターや継ぎ目を抑えた操作盤など、利用者にとって見やすく、使いやすいインターフェースを採用しています。

さらに、スマートフォン認証やロボット連携によるスムーズな移動に加え、地震発生後に自動で診断・仮復旧を行う「ヘリオスドライブ」の適用範囲を従来モデル[*3] の 120Gal(震度 5 弱程度)から 200Gal(震度 6 弱程度)へ拡大[*4] することで、発災後の迅速な復旧に貢献します。また、停電時には電気自動車(EV)からエレベーターへ給電できる V2X システムに対応し、建物のレジリエンス向上と BCP 対策にも寄与します。

本製品は、日立が展開する次世代ソリューション群「HMAX for Buildings」の中核となるデジタルサービス「BuilMirai」と連携する次世代コネクテッドエレベーターです。エレベーターから生成される稼働データや保守データを活用し、ビル設備の運用状況の可視化や保全品質の向上、オペレーションの効率化を支援します。また、エレベーターを起点としてさまざまなビル設備やサービスとの連携を可能とし、安全・安心・快適なビル空間の実現とビルの価値向上に貢献します。

さらに本製品は、HMAX for Buildings がめざすビル設備の高度なデータ活用や、将来的なフィジカル AI による運用高度化に向けた基盤としても位置付けられています。

*1 2025 年 11 月 10 日付ニュースリリース「日立の次世代コネクテッドエレベーター「アーバンエース HF Mirai」を 2026 年 4 月に販売開始」
https://www.hitachi.com/ja-jp/press/articles/2025/11/1110/

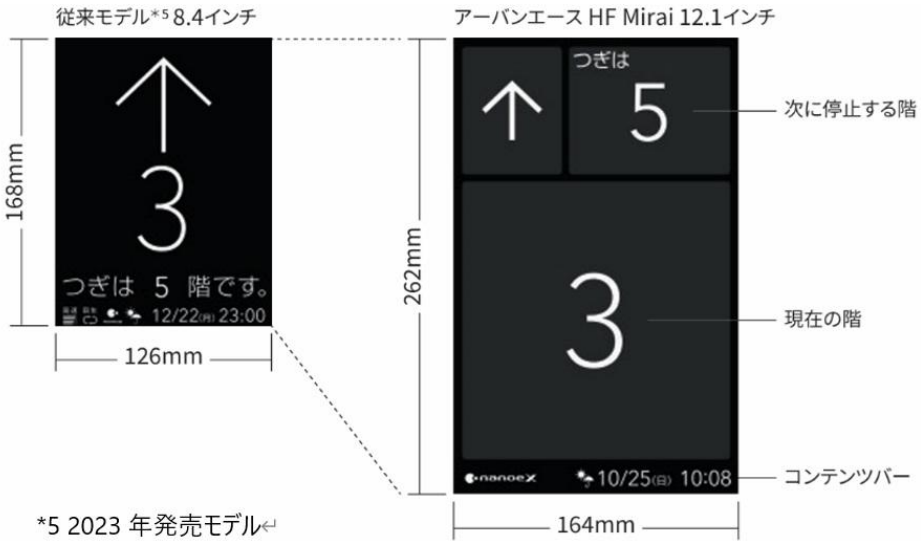
*2 昇降機やシステムを意識させない、自然な人の移動をサポートする開発コンセプト。

*3 2023 年発売モデル

*4 2027 年 3 月までに適用開始予定。震度の目安は、一般的な Gal 値と震度の関係に基づいています。Gal 値と震度の関係は建物の構造、地盤条件、地震波の特性などによって異なるため参考値です。また、検知結果および制御動作は設置環境等により異なり、特定の震度における動作を保証するものではありません。

■「アーバンエース HF Mirai」のデザイン特長

かご内デザインのバリエーション(一例)



*5 2023 年発売モデル

高い視認性と優れた情報発信力を実現した「かご内大型液晶インジケーター」

今日のニュース　天気予報　今日は何の日　お客さま作成メッセージ　季節の風景

かご内大型液晶インジケーターの表示コンテンツ*6(一例)

*6 日立ビルシステムと保全契約が必要となります。

■審査員コメント

エレベーターを単なる移動設備ではなく、人が心地よく過ごす場として捉え、空間全体のあり方を丁寧に見直した点を評価した。リアリティを追求した木目や石目の素材表現、照明、継ぎ目のない一枚構成の操作盤など、生活者の視点から細部まで整え、設備機器的な印象を抑えた上質な佇まいを実現している。また、大型液晶表示やスマートフォン認証、ロボット連携などのデジタル技術も自然に融合され、視認性や利便性を高めている。さらに、災害時の自動仮復旧や EV からの給電など、社会インフラとしてのレジリエンスにも配慮されている。空間、インターフェイス、デジタル技術を一体として磨き上げ、これからのエレベーターに求められる新たな価値を提示している。

日立のコネクティブインダストリーズ(CI)セクター アーバンソリューション＆サービスビジネスユニットは、プロダクトの豊富なインストールベース(デジタライズドアセット)のデータにドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX for Buildings」に注力しています。フィジカル AI のリーディングカンパニーをめざし、これらをコアとする「ファシリティサービス」の提供を通じて、お客さまのライフタイムバリューを最大化し、グローバルに産業を変革することで、豊かな社会の実現をめざします。

商標注記

・記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

■グッドデザイン賞公式 Web サイト

http://www.g-mark.org/

■関連コンテンツ

「アーバンエース HF Mirai」に関する Web サイト

https://www.hbs.co.jp/products/elevator/new/standard/ua/

「BuilMirai」に関する Web サイト

https://www.hbs.co.jp/products/builmirai/

■日立ビルシステムの Web サイト

https://www.hbs.co.jp/index.html

■日立ビルシステムブランドチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCfOgxcLRk3NHm2WrqHeQ6MA

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025 年度(2026 年 3 月期)売上収益は 10 兆 5,867 億円、2026 年 3 月末時点で連結子会社は 606 社、全世界で約 29 万人の従業員を擁しています。詳しくは、**www.hitachi.com/ja-jp/**をご覧ください。

お問い合わせ先
株式会社日立ビルシステム
カスタマーサポートセンター

0120-7838-99
(フリーダイヤル)